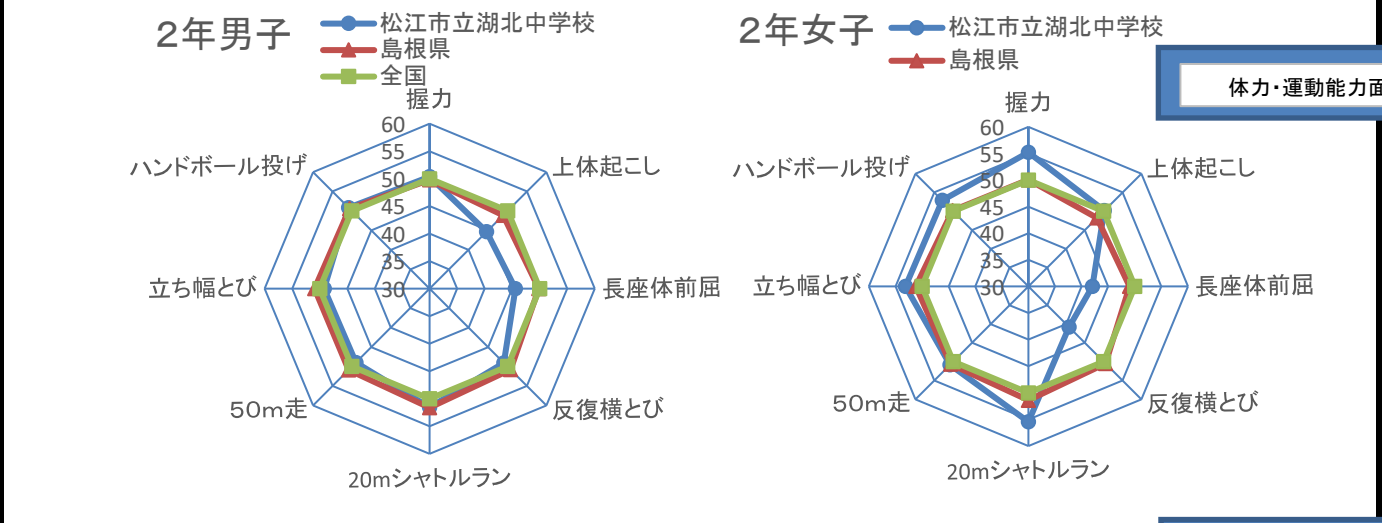
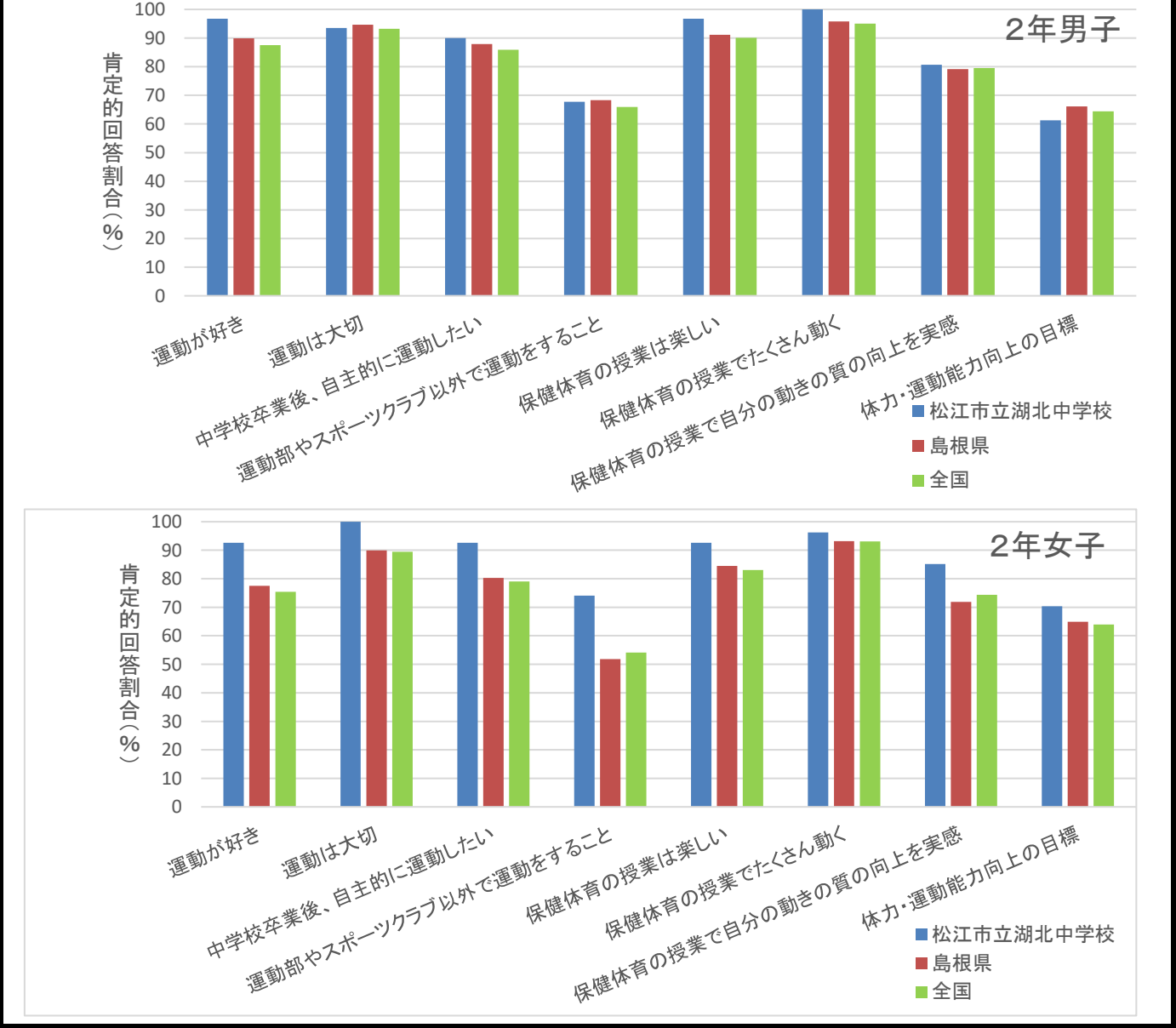


(1) 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)

(2) 調査結果の分析



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



①体力・運動能力面
強み
○男子では、全国平均を大きく上回っている種目がない。 ○女子では「握力」「シャトルラン」「立ち幅跳び」「ハンドボール投げ」が全国平均を上回っている。特に「筋力」が強み。
課題
●男子では「上体起こし」「長座体前屈」「反復横跳び」「50m走」「立ち幅跳び」が全国平均を下回り、特に「筋持久力」「柔軟性」が課題。 ●女子では「長座体前屈」「反復横跳び」において全国平均を下回り、特に「敏捷性」が課題。
次年度の対策
○保健体育の授業において、柔軟性・敏捷性を高める運動を積極的に取り入れる。 ○体力調査の結果により、課題となる運動について考察し、自己のトレーニングに生かす方法を考えさせる。

②意識面
強み
○男女とも「運動が好き」「保健体育の授業は楽しい」の回答の割合が全国平均よりも高く、運動や保健体育の授業への関心・意欲が高い。 ○男女とも「中学卒業後、自主的に運動したい」の肯定的な回答の割合が全国平均よりも高い。
課題
●男子では「体力・運動能力向上の目標」の割合が全国平均よりも低い。
次年度の対策
○運動の中で、「見る・考える・対話する」活動を通して、運動の多様な楽しさを味わえるような計画、実施をする。 ○個々の目標がより明確に立てられるような授業の工夫

(3) 令和4年度の方針【学校全体での取組】

- ①体力向上や体育授業に関する校内研修会等の計画について
・職員会等で体力向上推進計画を職員に周知する機会を設け、本校生徒の体力の現状と課題を把握する。
- ②体育科授業の工夫・改善について
・授業改善に関する内容
校内で互見授業を行い、教科の枠を超えて、意見を出し合いながら、授業改善に取り組む。
・体力調査・運動能力調査結果の活用に関する内容
各学年及び部活動に体力調査の結果を提示し、特に運動部活動において、指導計画にもり込み、生かすようにする。
- ③体育授業以外の活動の工夫について
・全校で行う活動(例:縄跳び大会等)・かしこい体づくりに関する内容
生徒会体育委員会において、各学年、昼休みスポーツイベントと称し、学年で運動に親しむ時間を企画・実施する。
- ④家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信について
・湖北白鳥学園内で積極的に体力の現状について情報共有し、長期課題の設定をし、体力向上に取り組む。